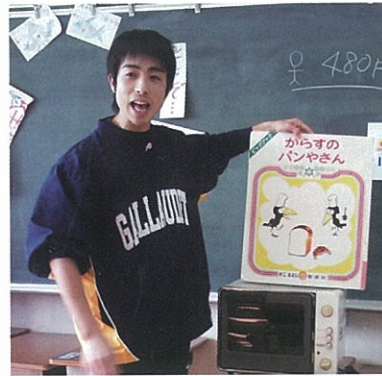


上越での日々に 感謝しながら

上原 浩晃 (うえはら ひろあき)

長野県出身。平成19年度大学院障害児教育専攻修了。修了後は、母校の小学校に勤務後、現在、長野県長野養護学校小学部に勤務している。



修了生
からの
お便り



クリスマスの季節の生活単元学習。みんなで空き缶を釣ってツリーを完成!

大学院を修了した次の年、母校の小学校に勤務する幸運に恵まれました。近所の子どもたちと共に学校に通う毎日。毎朝子どもたちが自宅の前を通り、「先生おはよう」とか、時には「先に行くよ」と声をかけてくれました。現在は2校目の養護学校に異動しましたが、今でも地元に戻ると子どもたちが声をかけてくれて、とても嬉しいです。

現在勤務する長野養護学校の文化祭「長養祭(チョウヨウサイ)」では、小学部の教員代表として「チョウヨウサイダー」(私は、イエローサイダー役)を演じました。また、生活単元学習では児童に人気のキャラクターを演じたりしながら、子どもたちが一緒に居たい、一緒に遊びたいと思ってくれる

存在になれることを目指しています。そのために、子どもたちの気持ちに寄り添うことを怠らず、どうすれば子どもたちが主体的に活動できる環境づくりができるか、自問自答の日々です。

そのような中、先輩の先生方から学ぶものはとてもたくさんあります。養護学校の授業の多くはチームティーチングで行うため、毎日の授業が、私の学びの場でもあります。

また、上越や修了した大学院とのつながりが、今の自分を支えています。大学院1年目から毎年出場している「高田城ロードレース」には、今年、同僚の先生やクラスの子どもたちと一緒に出場することができました。皆で一緒に走り、終わった後には美味しいものを



学校最大の行事「長養祭」。チョウヨウサイダーが登場!



今年も出場した高田城ロードレース。また来年も、同僚の先生達と参加します。

食べて、上越市の春を満喫しました。来年度もぜひ来たいと皆で楽しみにしています。さらに、在学中にご指導いただいた指導教員の先生には、今でも相談のつてもらったり、参考資料等をいただいたりと、引き続きお世話になっていて、変わらぬご指導に感謝しています。大学院在学中、研究を進める上でお世話になった小学校の特別支援学級の先生や、ボランティアスタッフとして参加したスペシャルオリンピックスの関係者の方々は、今でも行事の度に声をかけていただいています。大学院や上越の人々とのつながりが依然としてあることに、自分は本当に幸せなのだと感じています。